

広報かわにし

町長選挙

十四日が投票日

町議補選もあわせて

町長選挙と町議会議員補欠選挙は七日告示され、投票日は……きたる十四日にきまつた。

町長選挙の場合、現町長の任期が九月三十日満了すること……にともなうもので、あわせて、現在町議に一名の欠員がある……第 一選挙区(千手)と第四選挙区(仙田)の補欠選挙を執行……するのが、今回の特色です。

町政を担当する町長、町議は、わたくしたちの代表です。……正しい判断で、わたくしたちの生活をよりよくするための権……利を行使してください

きよう立候補切り

投票日までの選挙日程

- 七日 告示
- 十日 立候補切り
- 十一日 町長選挙立会演説会
- 十二日 投票(投票時間は午前七時から午後六時まで)
- 十四日 投票(投票時間は午前七時から午後六時まで)

町長選挙立会演説会

- 十一日 午前十時より 仙田小学校
 - 午後八時より 上野小学校
 - 十二日 午後二時より 橋中学校
 - 午後八時より 千手中学校
- 候補者一人の演説時間は二十分、演説者との間に質問や応答はで

発行所	川西町役場	社	一
発行者	川西町	部	五
(町長)	中村吉	動	一
編集人	北村準	口	一
印刷所	白南	日	一
定価	1部	現在	
—	人口	(9月1日)	
男	7,191	人	1
女	7,362	人	2
計	14,553	人	3
世帯数	2,759	世	帯

- 十一 中仙田小学校
 - 十二 仙田小学校
 - 十三 赤岩小学校
 - 十四 白倉小学校
 - 十五 仙田小学校小脇分教場
 - 十六 桐山囃子宅
- 町議補選のある選挙区での投票は、町長、町議会議員の順序で行なわれます。
- 投票用紙は、黒が町長、赤が町議と、色分けされています。

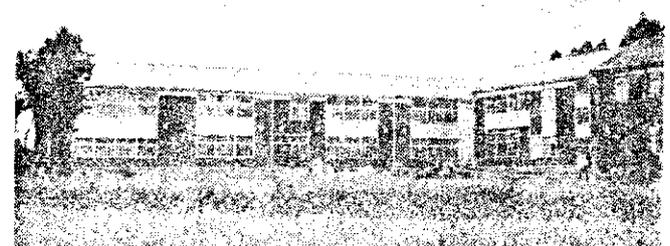
四万四千二百三十五俵

ことしの産米予約申し込み

八月末に×切られた本年度産米の予約申し込み数は、別表のよつに四万四千二百三十五俵に達して、昨年よりは十三パーセント増かりに七月水害による予約の一部取り消しがあつても、実際に売り渡される数量は、四万五千俵をこえる見込みです。

地区別産米予約数量

- 千手 一四八一四俵
 - 上野 九〇二二俵
 - 橋 九三〇〇俵
 - 仙田 一一〇九俵
 - 計 四四三三五俵
- すでに二百十日も無事に過ぎてはやくも早生種の刈り取り風景が



橋小危険校舎 改築工事完成

五月にはじめられた橋小小学校の危険校舎改築工事が三十一日小杉土建の手で完成、六日にはその竣工式が行なわれた。

工事は、旧校舎の南側六教室を

神社合併の可否

九月はみどりを祝い感謝する秋祭りの月だ。毎日どこかで書きたりかしいタイコ音が、こがねの波を渡って聞こえてくる。町では、まですそのトップを切つて九月一日二百の千手神社の祭礼が豪華な新築社殿によさわしい盛大で行なわれた。

町づくり

総額七百万円を投じたといわれるこの神社の改築は、地元氏子多年の宿願が実を結んだもので、神恩溢り銀板まき、木の香もまろしい社殿は、名実ともに町の中心地区に映しだす風景である。もとより最寄り五社の合祀による神社が、今更には神宮、高野山神社を合併して千手神社と五重塔を一本にしようとする、神社建設の新しい動きであるとして、全国紙にも大きく取り上げられた。

とりくすして、普通教室四、図書室一、音楽室一、木造二階建て延べ百八十坪の建築で、これにともなう工費は、現在行なわれている躯体付属の玄関、使丁室、宿直室の改築とあわせて六百五十万円(写真は新築された橋小小学校改築校舎)：高橋四三先生(撮す)

神社合併については、それが信仰という精神生活に基礎をおくものであるだけに、形の上の合理化だけで安易にその可否を論ずることばできない。どんな小さな祭落の、どんなさやかな氏神さまにも、その古めかしい鎮守の森が象徴しているように、その祭落民の精神的統合と切つても切れない伝統がある。

子どもときからの親しみ深い遊び場であり、かつみ合の場であつたソボクな氏神さまのゆるい、ゆるい、いかめしく正々とした、精神的な神社より、祭落民の精神形成に好ましいと答つた人もあつた。一方、信仰心の薄れた種在、部落ごとに神社を持つことは無意味で経済的これを統合すればは部落間の対立意識を解消させるにも役立つという積極意見もある。また、現在の神社制のともいふる神社運営については、信教の自由という立場からの統制もある。信教の自由を認めて、古いものを保存したいという考え方もあつて、ここでいうのは信託だが、実際には信託による統制が、信託の趣意を改めることがあつた。信託の趣意を改めることがあつた。

町議会報告

議長以下再選される

人事で終始した定例会

任期一年という申し合わせにより、毎年八月末に招集される議会では、正副議長、常任委員長の改選が重要な年中行事の一つとなっている。

四回日の改選期を迎えて、ことしは八月三十日に定例会が招集され選挙の結果小林議長、小川副議長のほか、四名の常任委員長ともそれぞれ再選された。

この時期はまた議会の同意や推薦を必要とする公職人事の任期がはじまる時期でもあるので、毎年盛りだくさんの人事問題が議題となっている。ことしも議会自体の人事のほか、教育委員、固定資産評価審査委員の再任、農業委員学識経験委員の推薦等が行なわれた。

人事以外には比較的簡単な条例の改正四件が可決され、請願一件(町道川辺緑木落、仁田、野口地内改修促進に関する請願)が土木委員会に付託されたのみで、予算関係の議案は提出されなかつた。

改正された条例

次の条例改正案が、いずれも原案どおり可決された。

◎川西町議会議員期末手当支給条例の一部改正

◎川西町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

この二つはいずれも期末手当を国家公務員に準じての、一九月分増額する改正で、従来の百分の六十五が百分の七十五となった。

◎川西町報酬費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部改正

これは七月一日から国鉄運賃法の改正で三等運賃が二等運賃に改正されたので、それに伴って字句を改正したもので、実質的に変更はない。なお旅費関係の他の六つの条例もあわせてこのように改正

このため、小川副議長が議長席につき、まず日程追加の件を議決してだだちに休憩にはいり、その後取り扱いはいて協議した。

その結果、原則どおり単記無記名投票によって後任議長を選挙することとなり、午後一時再開、ただちに議長の許可を議決し、引きついで議長選挙が行なわれた。

その結果は次のとおりで、小林氏が多数を得て再び選出された。

十六票 小林 伝司
七票 増田 忠治
一票 馬場 卜禰

次いで小林新議長のもとに副議長及び各常任委員長から辞表が提出され、その許可を議決したのち、まず副議長選挙が行なわれた。結果は次のとおり小川副議長が再選された。

一六票 小川 駒治
三票 南雲 章
三票 和久井 精一
一票 増田 忠治
一票 川崎 清栄

最後に常任委員長の選挙については①四つのポストをあらかじめ四地区に割り当てるかどうか②四名連記とするか③一人ずつ単記投票とするか、について協議したが結局一ポストずつ順次単記投票で選出することとなった。

再開して、総文委員長から逐次選出した結果、次のとおり四人とも前任者が再選され、ここに六回にわたる堂々めぐりが全部終了した。

堂々めぐり六回
常任 財政を二名欠
委員

町長提出議案並びに請願の審査を終ったあとで、小林議長から小川副議長あて辞表が提出された

議長選挙にはいる直前にはさすがに緊迫した空気が見られたが、正副議長の再選によってやまを越した形となり、常任委員長選挙のころは軽い冗談も飛び出すなかやかさを取りもどし、淡談として行なわれた。

このあと、常任委員の選任について協議の結果、財政委員の田中金澤氏を欠員中の総文委員に補充選任し、財政委員を二名欠員のままとしたほか、全部従前どおりと決定した。

農委に
町長・議長を推薦
正副議長以下の改選が終わったのち、農業委員会委員の推薦の件が上程され、農業委員会等に関する法律第十二条第二号による学識経験者委員として、中村町長及び

新農業委員出そろふ
会長に 中村 壮吉氏
町農業委員会の新しい委員二十一名がきまつた。このうち十四名の選挙委員が、去る八月十二日の選挙に無投票で当選が確定したあと、このり七名は八月三十日招集の町議会で、学識経験者二名の推薦も終わり、農協四名、共済一名の各理事とともに選任委員として加わり、これで全員の顔ぶれがそろったことになる。

新委員の氏名は次のとおり
◎選挙委員(十四名)
小川富治(岩瀬)小島謙作(新町)
新田(北村直次)山野田(根津英作)(上野)小林猪作(山仙田)田

野添秀保氏が出された。

小林議長の両人を満場一致で推薦することに決定した。

これによって、八月十二日に行なわれた農業委員選挙によって選出された十四人、並びに農協、共済組合からそれぞれ推薦された理事五人と合わせて二十一人の農業委員会を構成し、九月一日から発足することとなったわけである。

固定資産評価委
町長提出の教育委員会任命については、九月十五日に任期満了となる高橋勇太郎(坪山)及び小林誠治(山仙田)の両氏を、また固定資産評価審査委員の選任については、九月三十日に任期満了となる丸山豊太郎氏(原田)を、それぞれ再選することに満場一致で同意した。

◎選任委員(七名)
原名与三郎(千手巻橋)清水肇七(上野農協)藤野重正(橋本協)佐藤常一郎(仙田農協)中村壮吉(町長、学識経験)小林伝司(議長、学識経験)

その後、三日に開かれた第一回農業委員会、会長、農業委員会、村町長から表彰されて注目を集めた野口の星野徳蔵さん(六八)がこの老人である。(M)

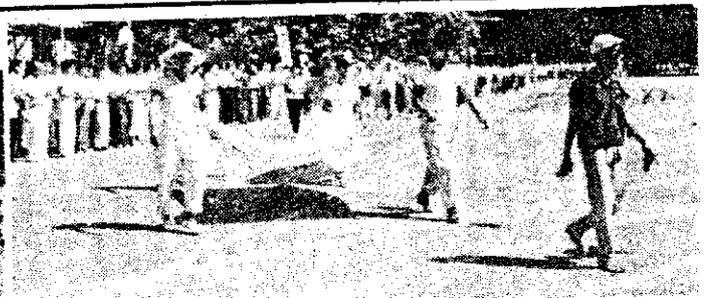
住家が荒涼のはずれに位置していたこの老人が、隣り藩落までの冬期道つけを引きつけたのは昭和二十四年のことであつた。担当区間名に負つたさの難所であつたが、十年間は奉仕しよう、と心に誓っていた老人は、どんなに苦悶をさす大層の朝も家敷のたぐり早く起きて、火の気のない中でマツサトシをやりながら作業衣に着替え

通学道路の確保に献身した。悲願の十年は後任の関係で結局十一年になったが、寒風届に甘んずることのきらいな老人は三年前から学校、支所等の下駄汲み取りも進んで引き受けた。最近では糞尿でさえ下駄をもてあますほどまで、非難や公共施設が手をやいてゐるのはいすことも同じである。そのように中でのこの老人が、せせと汲み取られてくると、学校を交所は大恥かり。マンモス級の小学校の便桶は清掃車でもなければ手がつけられないしろものだが、この老人は単身これと取ら組み、遂にはハグカで中にはいり込むといつた非常手段でこれを始末したといふ。今までのこの便桶の底を見せると、この老人がはじめてたどる便桶を言を巻いてゐるが、老人は一若いと

き本六(深さ直徑六尺の記タメ)で、頭から下肥のシブキをかぶって苦勞したことを思えば何でもない」と、このほろも十年間はやりとおしたといふ張りついていると云る六尺、極小學校改築落成式に中村町長から表彰されて注目を集めた野口の星野徳蔵さん(六八)がこの老人である。(M)

ふるさと
住家が荒涼のはずれに位置していたこの老人が、隣り藩落までの冬期道つけを引きつけたのは昭和二十四年のことであつた。担当区間名に負つたさの難所であつたが、十年間は奉仕しよう、と心に誓っていた老人は、どんなに苦悶をさす大層の朝も家敷のたぐり早く起きて、火の気のない中でマツサトシをやりながら作業衣に着替え

第1回町民運動会



千手の優勝でおわる

第一回町民大運動会は総合得点の一位、晴れの初優勝を千手地区が
かちとり、以下仙田、上野、橘の順位で無事にその幕をとした。
八月十七日の千手中学校グラウンドは、第一回、しかも地区対抗の大
会とあって、熱戦はうだるような暑さも吹きとばさんばかり。この日
くり出した選手、応援団の数は約四千人で、町のかたがたの関心の深
さを知るに十分の活気が、グラウンドにみなぎっていた。

千手二〇三点・仙田一七二点
上野一五七点・橘一二二点

四地区の種目別得点は別表のと
おりで、ここではレースのこまか
な成績をばいいて、種目ごとに最
高記録をかかげるにとどめます。

男子

- △百米 ◎小学生 富井正夫(上野)一五秒六 ◎一般三〇才まで 星名四郎(千手)一三秒八 ◎三才から四〇才 北岡昌春(千手)一三秒二 ◎四一才以上 田中武(仙田)一四秒二
- △走中とび ◎中学生 川崎道夫(仙田)五米〇四 ◎一般 登坂研治(仙田)五米七八
- △千五百米 ◎中学生 平野勇(千手)四分五三秒六 ◎一般三〇才まで 村越嘉一郎(橘)四分五三秒七 ◎三才以上 小林栄作(仙田)五分〇六秒〇
- △走高とび ◎中学生 青木普(仙田)一米六三 ◎一般 小林斉(千手)一米六〇
- △二人三脚 ◎一般三〇才まで 星名徳平、教藤孝一(千手) ◎三才以上 平野正義、北村日出太(千手)
- △二百米 ◎中学生 渡辺弘(千手)二四秒二
- △八百米リレー ◎中学生 仙田チーム一分五一秒三 ◎一般 千



- 手チーム一分四九秒〇
- △消防団競走 川崎定則(仙田)
- △ローソク競走 登坂登(仙田)
- △砲丸投 ◎一般三〇才まで 小幡紀年(橘)九米九〇 ◎三才から四〇才 江口一(仙田)九米五九 ◎四一才以上 富井正治(上野)九米六〇
- △四百米 ◎一般三〇才まで 清水俊六(千手)一分〇一秒八 ◎三才以上 南雲敬(仙田)一分〇九秒三
- △千六百米リレー 千手チーム四分〇七秒四
- △年令別リレー 仙田チーム二分三四秒三

△順位 橘チーム 一時間四七分二秒

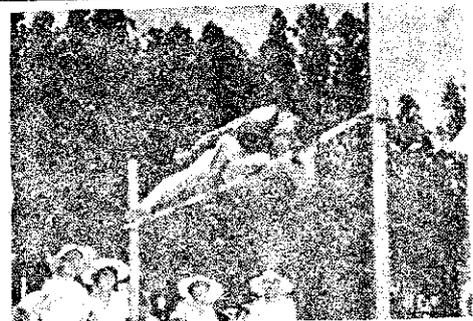
女子

- △百米 ◎小学生 太田昭子(千手)一六秒〇 ◎中学生 丸山和子(上野)一五秒一 ◎一般三〇才まで 宮田喜美江(千手)一四秒三 ◎三才から四〇才 中島マス(上野)一七秒六
- △走中とび ◎中学生 星名幸(千手)三米七五 ◎一般 目黒アツ子(千手)三米六四
- △走高とび ◎中学生 高橋ヒデ子(仙田)一米三三 ◎一般 水品ゆり子(上野)一米一八
- △二人三脚 ◎一般三〇才まで 片桐了子、永井貴美子(橘) ◎三才以上 丸山満子、村山トワ(千手)
- △六十米 ◎四一才以上 登坂カツ(仙田)一一秒六
- △四百米リレー ◎中学生 千手チーム一分〇一秒〇 ◎一般三〇才以上 押木ツタヨ(上野)
- △砲丸投 ◎一般三〇才まで 藤

種目別得点表

種目	千手	上野	橘	仙田
100m	44	39	27	28
中とび	32	17	13	30
1.500m	9	5	7	8
高とび	27	23	18	24
2人3脚	13	6	10	11
200m	4	2	1	3
60m	3	2	1	4
400mR	8	6	4	2
800mR	7	3	3	7
消防団競走	5	6	1	7
砲丸投	16	15	14	14
400m	6	6	2	5
お支度	6	6	2	6
ローソク	10	10	5	10
1.600mR	4	2	3	1
年令別R	7	5	2	6
五人伝	1	2	4	3
駅	1	2	4	3
計	203	157	121	172

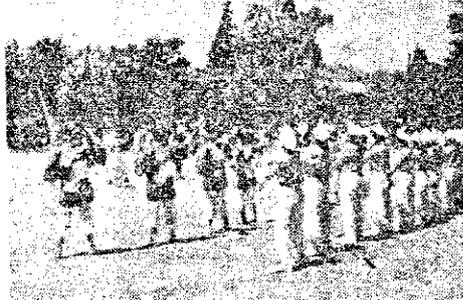
△五入れ 橘チーム 一九分三九秒二
以上が種目ごとに各レースを通じた一位のラップですが、トラック種目は参考記録とします。



応援団賞も

千手が一位

各種目の熱戦のかたわら、応援
合戦も地区それぞれに工夫をこら
して、目にもあざやかに大会気分
を盛りあげてくれた。この応援団
の成績は、千手、上野、仙田、橘
の順で、競技とともに千手地区が
地元の名をきかした印象が深
いようである。



大会を

ふりかえつて

この運動会を主催した公民館の
侯坂さんは次のように話している
「これほど盛大になるとは考えて
もいませんでした。これも町当局
町民会員の理解と協力のあらわれ
と喜んでいきます。約四千人が笑
いの中にも規則正しく、大会をり
っぱにやりとげたのは大きい収穫
で、単に運動会だけでなく、町の
発展を力強く約束するものでし
ょう。大会内容はさらに反省の上
に、次回はよりよいものにし
てゆきたいと思えます。」

「おばあさんたちの

グループ活動

上野に「ときわ会」誕生

八月二十三日、ところは上野支所会議室で、人形芝居や歌をまじえて、なごやかにひとつの発表式が行なわれた。集まったのは上野地区の六〇才をこしたご老人たちで、それもおばあさんだけ、町でははじめてのとしよりグループ「ときわ会」がそれである。

きたる十五日のとしよりの日を間近にひかえて、こんな話題を提供できるのもたのしいことです。

余生をたのしく

もともととしよりのいる家庭や社会は明るいものですが、この「



ときわ会」会則第四条をみると、この会は、会員相互の親睦をはかり、あい励め、あい励まし、かつ過去を反省し、余生を健康と幸福で長寿をはかる、というふうにその目的をうたっていること、余生を楽しく過そうということにあり、世の中のこともちよびり勉強したうえ、みんなの集まりをとおして、若い者にすこしでもついてゆけるようにと、おとしよりのもなかなか意欲的です。

会の世話役である上野支所富井保健婦さんも、「としよりが家庭にとけこめるような知識を、このグループの安息の上につけ加えてゆきたい」意向のようです。

神社、仏閣の
参拝など

会長は星名照子さんで、会員数は現在八十六名。この会がとりあける事業は

1 クラブを中心とした休息と娯楽
2 講話を聞く会
(写真は発表式風景 人形芝居に興ずるおばあさんたち)

る茶話会や座談会
4 神社仏閣の参拝
5 観光旅行
6 健康相談
などのほか、お互いの慶弔など、老人にふさわしい行事が計画されています。

そしてこの種の活動は、郡の社会福祉協議会の本年度の目標としてあげられており、会長の星名さんはその理事でもある関係から、会の結成には大きな力になっていようです。

町社会係でも、今後こういったグループの育成には、空気を助長してゆきますが、としよりが自分の手で余生を計画的に暮らそうという意欲には、拍手をおくろうではありませんか。

消防ポンプ 操法競技会

川西町消防団の秋季演習は、五日前八時から千手中学校グラウンドで開かれたが、そのあと引きつづいて消防ポンプ操法競技会が、千手中央通りで行なわれ、おりからの雨にもかかわらず、自動車、手引き、可搬の部それぞれ四地区の代表が、日ごろの訓練の成果をきこいあった。

成績は次のとおり。

△自動車部
一位 上野 三三秒五
△手引き部
一位 第一分団第一部(中島町) 東善寺 二九秒六
二位 第三分団第四部(木落) 三七秒二

△可搬の部
一位 第四分団第五部(赤谷) 二九秒八
二位 第四分団第四部(田戸) 三〇秒八

お気持ち感謝いたします 社会を明るくする運動 募金

七月号「町の掲示板」でもお願いで、七月いっぱい八月にかけて、町のかたがたから協力いただいた「社会を明るくする運動」封筒募金の結果が、このほど社会係の手でまとまった。

募金は総額で三万五千八百七十七円、

千手 一三、二二二円
上野 四、二四〇円
橋 四、三六七円
仙田 八、七五九円

が、その地区別内訳となっている。こうして集まった金は、いった

出かせぎ者 求人案内

秋期および冬期間の出かせぎ者の求人状況は、いまのところはほ次のようになっています。

・男子
荷扱夫 日給五百円
東京日本通運
日給三百円
千葉市山田製粉

町民運動会について

八月十七日行なわれた町民運動会について一言

まずまず最初の試みとしては上できたと思えます。関係者の努力に深く感謝いたし、町民そろって一堂に集まる機会をもつことの大切さがしみみ痛感されました。

毎年実施して全町の親睦の契をあげてゆきたいものです。

ただ今回のように地区対抗の比重が重いと、対抗意識が先走って

町の声

町民運動会は地区対抗形式を全面的になくするのかもしれないと思えます。四地区の対抗レースは青年団の職任とか、リレーのごく数種目に限るのがよくて、レクリエーション種目をもっととらえたいらう。

製本工 日給二百七十円 墨田区中野紙社
右技係 日給五百円 中央区大和運輸
・女子
信託工 日給二百五十円 愛知県信託工場
・月給五千円
静岡稲葉食品
包装工 日給二百三十円 板橋区渡辺製菓
紡績工 日給三百円 愛知県日本毛織
・日給三百三十円 東洋紡績工場
そのほか、東宮佐賀工場が縫製工(日給二百五十円)、日東紡績工場、静岡、信田各工場、名古屋新洋紡績、東京藤倉製線、橋本金属、天浜木下運輸などからも申し込みがきこわれています。

詳細については、役場社会係までお問い合わせください。説明いたします。

あすから食生活改善月間 農繁期の栄養

岩田 トク

季節はいよいよ食欲の秋、味覚の秋、わたくしたちの町ではこれらが農繁期、毎日の食生活はすぐ労働力に影響します。主婦たちの台所作業は体力を低下させない工夫と心くばりが必要であすから始まる栄養改善普及運動機会に、みなさんの食卓をよりよくのぞいてみて下さい。

長生もする

ための食生活

戦前の「人生五十年」がわずか十五年の間に「人生七十年」と二十年も長生きするようにになりました。それでも他の国にくらべたら日本はまだまだ多くの人が、早く老衰したまま寿命をちぢめていっています。

また食習慣が悪いため、体格が小さい、疲れやすく暑寒に弱い、病気がかりやすいという弱点があります。この弱点をとりぞいで、健康で長生きするためには、食生活の改善がどうしても必要であつて、それにはわたくしたちの毎日の食べものについて、どのように考えていったらよいのでしょうか。

(I) 米の偏食大食をやめる

米食一方にかたよると、自然に米を大食するようになります。米の大食はそれ自体有害であるうえに、かならず食塩の過食をともなつて、高血圧症の重大な原因になります。しかし、いきなり米をへらすことはなかなかむずかしいことですから、まず他のものをも

つと食べるのに工夫をこらして、自然と米をへらすようにしたいものです。

(II) 肉魚卵または大豆は毎日食べる

肉、魚、卵らに含まれているのはおもにたん白質、カルシウムで、身体の血液や肉となる重要な成分です。にもかかわらず農村ではこの動物性たん白質がとくに不足していました。

でもそうはいったところでいまの町の状況から、新鮮な魚や肉を毎日食べるというのは、とてもおとろけな話です。この魚や肉と同じような栄養をもっている大豆を、毎日の食卓でとりあけるようおすすめします。大豆の食べ方としてのもっとも良いのは納豆、打ち豆など、そのほか味噌、豆腐があるのはご存知のとおりです。

(III) 野菜をすすめる

「野菜はドウドクくっているんだすが」とおっしゃるでしようがこの野菜には調理方法によつて、食べた量だけの栄養が、身体の中に吸収されないものがありますから、食品と料理を考慮しなくてはなりません。人体を機械とすると野菜は機械油の役目はたします

油がきれては、機械の回転がまよくゆかないのは当然で、野菜をしようずに、しかもたくさん食べて身体の働きをよくしましょう。

(IV) 油は少しずつ毎日

油は寒いときに食べるもの、そんなふうにいわれていますが、暑さに対する抵抗力を強くするのにも油であるし、病気に対しても抵抗力をつけるので、毎日少しずつ食べるようにつとめてください。

(V) 海草を常食しましょう

普通の人も海草は食べるべきですが、とくに高血圧の人は毎日十分摂取したいもの。

(VI) なるべく牛乳を飲む

牛乳は体質を強化する効果もあつます。ミルクでも山羊乳でも、どちらでも一日に一合は飲むようにしてください。

疲労をふせぐ

食事の質

このように、肉魚(または大豆)、野菜、油、海草などを常食すれば、主食のとりにかたは自然と少なくなりつきます。三食米飯を食べたとしても、一日三合の米でたりのでしよう。これなら米でもさしつかえないが、麦などを混食したりいも類を食べるならば、一層効果的です。

主食は米麦にかぎらず、いも、パン、麺でもよいのですが、主食だけの大食はさけたいものです。健康で長生きするためには、いろいろものを食べることで、八才をこしてなお元気な長寿者は、いずれも若いときから、好き嫌いがまをいわずに、なんでもよく食べ、よく働いた人たちです。



千手神社の新殿が完成して、さる七月三十一日に遷宮式、一日、二日の秋まつりには、七百万をかけた豪華な神明造りの装いで参詣者の眼をひいていた

新装なつた千手神社

町の掲示板

表彰された渡辺さん

さる三日、南魚沼郡湯沢町で開催された第十回新潟県社会福祉大会において、千手四郎兼社会福祉会さん、社会福祉事業特別功労者として表彰された。民生委員勤続十年以上の渡辺さんは、特に功労が顕著であつたものとして郡而では一人の被表彰。

過去、数多くの要保護世帯の自立更生に力を尽くされた。文字ど

橋地区敬老会

納野堂が斎場 対人会主催の橋地区敬老会は、十八日午前十時から橋小学校を会場として開く。

郡市青年学級生大会

中魚沼郡十日町市青年学級生大会は、十八日午前九時三十分から千手小学校で開く。

中央青年会発足

千手に二二三分団を新設した中央青年会が九月一日発足した。会長は小林徳吉で会長は四十一名

かわにし 俳壇

金山 柏樹 撰

秋は秋山を染めた
落ちかゝる火の星のつなは
ついで来てはちと虫の鳴きはじ
む 中田 遊 人
二ノ花白きに舞蝶舞いにけり
秋時におそわつても草草刈る
乙女座の燃えて 霞しき夜霧風ひ
小田 裕 風
木々の葉の落ちる 聲はさかな
大 崎 洋 石
コスモスに年々二葉三葉は
長任がはたされたか、とまよふ
かも、さつぱりセントウのつがな
い二匹の編組でして、野空を思つ
て難雑にするな、こゝないに行け
そんな激動もいたたまりました。
◎わけても丸山祐二郎さんといろ
いろと指導くださったのは、二匹
の編組には現われぬいも
のを、わたくしに教えて
くれました。広島の編組
を自分だけのものに
いけたこともうれし
せん。

後記

◎二百十日もわたりに
過ぎたよつて、さう一安心。あ
たりは秋の装いをこらして、稲穂の
波もたわわなのを、いそがし
くなるのです。これからは夜も
だんだん長くなるのでしよう。
夕されば田の稲穂をたたくて
声のまる心に秋風を吹く
(源 隆信)